





昭和元年発行地形図	野々村 邦夫	3
昭和初期の秘密地形図	山田 誠	8
100年前、昭和初年の都市と都市計画 -東京と金沢-	中島 正人	12
荒川放水路と「昭和」のはじまり-東京低地東部の都市景観と関東大震災-	谷口 榮	16
大正末～昭和初期の外邦図作製と空中写真測量	小林 茂	20
海外進展期を向かえた水路部の海図づくり-日本海運躍進による海外定期航路の海図点描-	今井 健三	24
「大正16年 謹賀新年」の広告も載せてしまった時刻表	今尾 恵介	28
国勢調査にみる大正末期の人口分布	久井 情在	32
青果市場から逆照射する100年前の園芸農業	清水 克志	36
昭和元年に使われていた『尋常小学校地理書附図』など	三橋 浩志	40
大正大学-大正15年創立の大学と校舎-	伊藤 宏之	44
大正15・16年 吉田初三郎筆鳥瞰図	編集室	48
大正末年～昭和2年の民間市街図	今尾 恵介	52

新刊地形図案内 58 / 今月新刊の見どころ!・日本地図センター便り 59 / 編集後記・次号予告 60

月刊 **地図中心**

◆「地図中心」は毎月10日発行です◆

**1冊 880円** (税込)

**地図倶楽部**

◆紙版と電子版のご購読会員

年間購読1年間 **12冊**

**プレミアム会員**

**6,600円** (税・送料込)

プレミアム会員(シニア) 満65歳以上

**5,500円** (税・送料込)

◆電子版のみのご購読会員(紙版は送付されません)

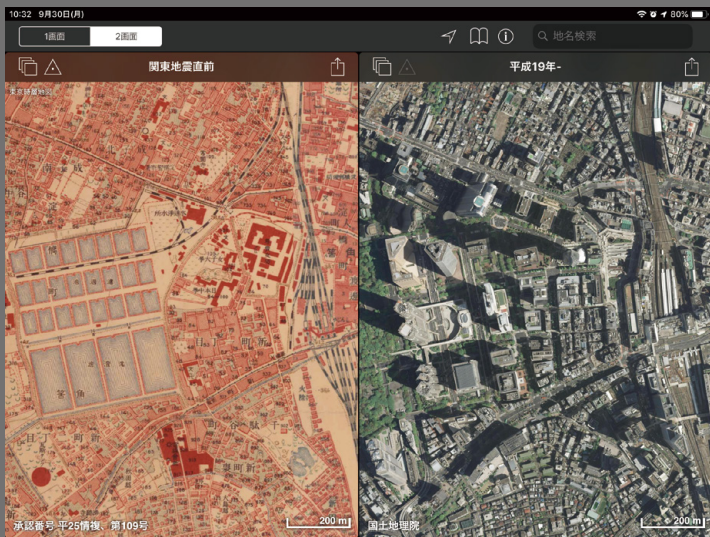
地図倶楽部会員	会費(税込)	入会資格
一般会員	5500円	なし
一般会員(シニア)	4400円	満65歳以上
学生会員	2200円	学生または18歳未満の方

地図倶楽部事務局  
map-club@jmc.or.jp 03-3485-5417

《表紙》「第24図 現代(四) 大正時代」『新制国史地図』株式会社 東京開成館(大正14年1月28日文部省検定済、大正14年1月5日訂正再版発行)より転載(×1.4 部分)

# 東京時層地図

## TOKYO JISOU MAPS



時層地図

検索



一般財団法人 **日本地図センター**

<https://www.jmc.or.jp/>

東京時層地図は、同じ場所の古地図と現代地図を、切り替えて見比べることができるスマートフォン・タブレット用アプリ。地図は明治期から現代まで、7種類を用意。見たい時代を選んでタップするだけで、瞬時にその時代へタイムスリップ。GPS 情報を利用し、今、自分がいる場所を古地図上に示すことができる。端末を持って移動すると、それに合わせて地図も移動。まち歩きが一層楽しくなるアプリ。

「時層」は「時間の重なり」を意味する造語で、古地図を重ねて見ることで、地層のように、その土地の変遷を捉えることができる。

文明開化期(1876～1886年)、明治のおわり(1906～1909年)、関東地震直前(1916～1927年)、昭和戦前期(1928～1939年)、高度成長前夜(1948～1960年)、バブル期(1984～1990年)、現代の7種類の地図のほか、現代の地形図、航空写真、航空写真+地図の計10種類を用意し、最新版では各時代の航空写真などを加え計19種類となっている。

iPad 版では、一画面表示と二画面表示があり、19種類を自由に組み合わせ、並べて表示することができる。ピンチイン・ピンチアウトで拡大縮尺も自由自在。

現在、iPhone 版の「東京時層地図」「横浜時層地図」、iPad 版の「東京時層地図 for iPad」があり、Android 版も用意されている。



# 昭和元年発行地形図

ののむら くにお  
野々村 邦夫

読者の皆様、新年おめでとうございます。令和7年、西暦2025年が明けました。もし「昭和」という元号を用いるなら、本年は昭和100年になります。

昭和元年は、1926年12月25日から31日までの7日間です。この頃の、そして大正15年から昭和元年にかけての1年間、更にはその直前直後の頃の日本はどのような国だったのでしょか？ この総特集号は、地図を通してその実相に迫ります。

大正天皇の崩御の日から大晦日までの1週間は、日本国民にとって尋常なときであったはずはありません。今から36年前の1989（昭和64）年1月7日、昭和天皇が崩御されました。そのときのことを覚えている読者の方も多いでしょう。戦前の、大日本帝国憲法下の日本における天皇崩御に始まる1週間は、そのとき以上に沈痛な雰囲気包まれ、人々は、仕事も日常生活も平常どおりに行える状況ではなかったのではないかと推察されます。

そのような昭和元年に印刷され、発行された地形図があります。刊行に携わった人たちの奮闘の様子は知る由もありませんが、その成果である地形図は、発行後間もなく100年になろうとする今も残っています。当時の地形図作成の現場に想いを馳せながら、昭和元年発行の地形図を見てみましょう。

## 昭和の始まり

### 新元号は「昭和」

1926（大正15）年12月25日午前1時25分、大正天皇が静養先の葉山御用邸で崩御されました。その

数時間後、東京日日新聞は号外を発行し、天皇崩御とともに新元号が「光文」であると報じました。同紙は、朝刊一面でも号外と同じく、新元号は「光文」であるとしました。この報道に追随して同様の記事を載せた他紙もありました。それからしばらくして政府は、新元号は「昭和」とであると公表しました。「光文」は、誤報でした（写真1）。



写真1 天皇崩御と新元号「光文」を報じる東京日日新聞1926年12月25日朝刊



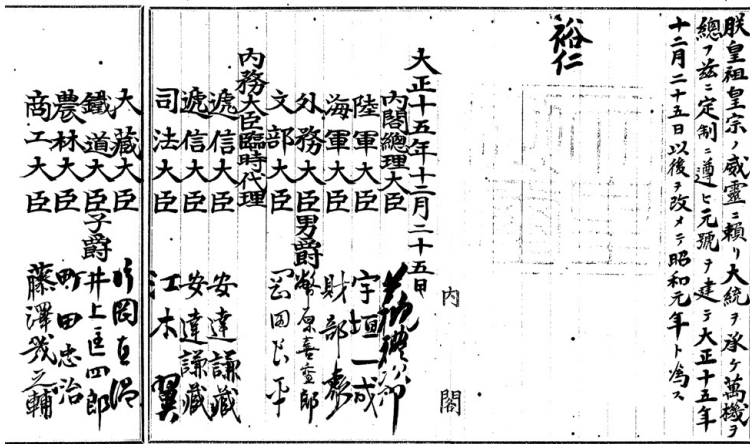


写真2 元号を定める詔書（「大正十五年十二月二十五日以後ヲ改メテ昭和元年ト為ス・御署名原本・大正十五年・詔書一二月二五日」国立公文書館）

12月25日に発せられた詔書により、新元号は「昭和」となりました（写真2）。その案に関する文書では、参考として「元化」「同和」が挙げられています。新元号の案については、宮内省と内閣でそれぞれ秘密裏に検討されていたようですが、「昭和」という案は、内閣側の検討過程にはあったようです。この誤報事件に関しては、いろいろな考証が行われていますが、ここではこれ以上深入りはしません。留意しておきたいことは、元号制定の検討は極秘の下に行われ、内定の段階で新元号を知る人は、内閣総理大臣、宮内大臣、元老、枢密顧問他極めて少数の人に限られており、政府の高官を含めてほぼすべての国民が「昭和」という元号を知ったのは、改元当日以降であったということです。

### 改元の手続き

「令和」という元号が制定されたときのことは、多くの人々の記憶に新しいでしょう。また、「平成」の元号が定められたときのことを覚えている人も多いでしょう。これらの元号の制定は、1979（昭和54）年に制定された「元号法」および同法の委任を受けた政令に基づいて行われました。

2019（平成31）年4月1日、菅義偉官房長官（当時。後に内閣総理大臣）が記者会見で、「令和」と書かれた色紙を掲げ、新元号を発表しました。元号の決定は、内閣の責任と権限の下に行われます。誰が最初にこれを公表するかという決まりはあり

ませんが、内閣のスポークスパーソンといえる内閣官房長官がこれを行うことは自然ですし、平成の元号制定の先例に倣ったのかもしれませんが。

なお、このときの改元は、「天皇の退位等に関する皇室典範特例法」に基づき、いわゆる「生前退位」によるものであり、施行される日（新しい元号になる日）は、特例法の施行の日（天皇が退位し、皇嗣が即位する日）の翌日、5月1日となりました。新元号は、改元の1か月前に予告されたのでした。

#### 元号法（昭和54年法律第43号）

- 1 元号は、政令で定める。
- 2 元号は、皇位の継承があつた場合に限り改める。

#### 附則

- 1 この法律は、公布の日から施行する。
- 2 昭和の元号は、本則第一項の規定に基づき定められたものとする。

#### 元号を改める政令（平成31年政令第143号）

内閣は、元号法（昭和54年法律第43号）第一項の規定に基づき、この政令を制定する。  
元号を令和に改める。

#### 附則

この政令は、天皇の退位等に関する皇室典範特例法（平成29年法律第63号）の施行の日（平成31年4月30日）の翌日から施行する。

1989（昭和64）年1月7日、昭和天皇崩御の日、小淵恵三内閣官房長官（当時。後に内閣総理大臣）が記者会見を開き、「平成」と墨書された2文字を掲げました。平成元年は、翌日の1月8日から始まりました。

平成の改元も令和の改元も、手続き的には同様です。ただし、天皇の即位は、令和の場合とは異なり、天皇の崩御によるものでした。新元号の公表は、令和のときのように相当の期間前もって行われたのではなく、改元の日の前日でした。

#### 元号を改める政令（昭和64年政令第1号）

内閣は、元号法（昭和54年法律第43号）第一項の規定に基づき、この政令を制定する。

元号を平成に改める。

#### 附則

この政令は、公布の日の翌日から施行する。

#### 皇室典範（昭和22年法律第3号）（抄）

第4条 天皇が崩じたときは、皇嗣が、直ちに即位する。

一方、「昭和」の元号制定は、旧皇室典範および登極令の規定に基づいて行われました。「平成」および「令和」の場合とは手続き的な違いがありますが、大局的に見れば、日本国憲法の下に行われた改元と大日本帝国憲法の下に行われた改元との違いといえるでしょう。昭和の改元も平成の改元も、天皇の崩御によるものですが、昭和の場合は崩御と即位の日の当日から、平成の場合は崩御と即位の日の翌日から新元号となりました。

#### 旧皇室典範（抄）

第10条 天皇崩スルトキハ皇嗣即チ踐祚シ祖宗ノ神器ヲ承ク

第12条 踐祚ノ後元號ヲ建テ一世ノ間ニ再ヒ改メサルコト明治元年ノ定制ニ従フ

#### 登極令（明治42年2月11日皇室令第1号）（抄）

第1条 天皇踐祚ノ時ハ即チ章典長ヲシテ賢所ニ祭典ヲ行フシメ且踐祚ノ旨ヲ皇靈殿神殿ニ奉告セシム

第2条 天皇踐祚ノ後ハ直ニ元号ヲ改ム 元号ハ枢密顧問ニ諮詢シタル後之ヲ勅定ス

第3条 元号ハ詔書ヲ以テ之ヲ交付ス

大日本帝国憲法（抄）  
 第56条 枢密顧問ハ枢密院官制ノ  
 定ムル所ニ依リ天皇ノ諮詢ニ応  
 ヘ重要ノ國務ヲ審議ス

昭和元年発行地形図

羽越線などの鉄道挿入

新津駅（新潟市）から秋田駅（秋田市）に至る羽越本線は、現在でも東北地方日本沿岸地域における重要な鉄道路線です。戦後の高度経済成長期以降、上越・東北・秋田新幹線、東北・秋田・日本海東北自動車道（一部未完成）などが整備される前までは、その重要性は今とは比較にならないほど大きなものでした。当時の人々にとって、その開通は、非常に大きな期待と喜びを持って迎えられたことでしょう。

羽越本線（建設当初は別の路線名でした）の建設は、1912（大正元）年から始まりました。まず新津駅・新発田駅間が開業し、その後新発田駅から北へ延伸されるとともに、山形県内、秋田県内でも工事が進められ、小刻みに延伸開業が繰り返され、1924（大正13）年に全通しました。そのときは「羽越線」という名称でしたが、翌年に「羽越本線」と改称されました。

羽越本線が図示されている5万分1地形図は、南端の「新津」から北端の「秋田」まで、全部で17図幅あります（図1）。そのうち「新津」「新潟」「新発田」は、大正2年鉄道挿入大正8年発行の図で羽越本線が表示されています。ただし、注記は「羽越本線」ではなく、「村上線」です。「新津」では大正14年鉄道挿入の図で、「新潟」「新発田」では昭和4年鉄道挿入の図で、注記が「羽越本線」になりました。「新発田」の北隣の「中条」（当時の図名は「中條」）では、大正2年鉄道挿入大正8年発行の図で羽越本線（村上線）の一部が図示されていますが、完成後の羽越本線

の表示は、他の多くの図幅とともに、大正14年の鉄道挿入によるものです。

大正14年、「中条」から「秋田」までの14図幅で鉄道挿入が行われ、翌大正15年から昭和2年にかけて相次いで発行された地形図で、全通後の羽越本線がその注記とともに表示されました。発行年月は、「中条」「温海」「三瀬」が大正15年7月、「村上」「勝木」「鶴岡」が8月、「矢島」が10月、「笹川」「本庄」「羽後和田」「秋田」が11月、「酒田」「吹浦」が昭和

元年12月、「象潟」が昭和2年5月となっています。

前述した「新津」の他、「秋田」の北隣の「五城目」および「船川」でも大正14年に鉄道挿入が行われています。既に明治45年測図の図で奥羽本線が表示されていた「秋田」「五城目」とともに「船川」の図で、新たに船川線（大正5年開通）が表示されました。「五城目」は昭和元年12月に、「船川」は昭和2年2月に発行されました（図2）。

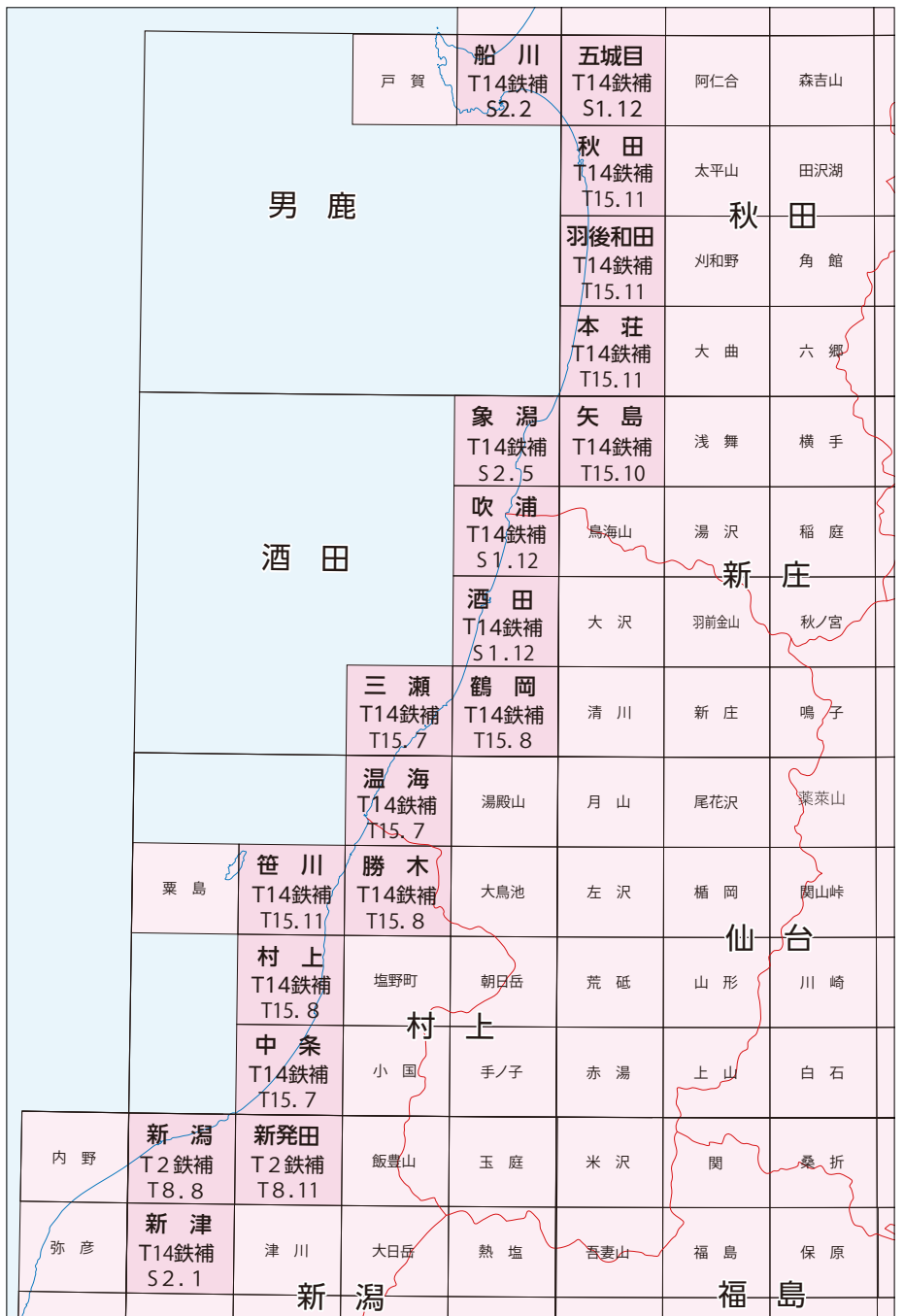


図1 羽越本線開業関連5万分1地形図索引  
 上段：図名 中段：測量履歴 下段：発行年月 T：大正 S：昭和



〈編集後記・参考〉

東京メトロ「12年に1度の期間限定リバイバル企画!「辰年から巳年へ」東京メトロオリジナル24時間券を発売&辰巳駅にて記念フォトスポット・スタンプを設置します!」  
<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000001220.000020053.html>

編集後記

謹賀新年

旧年中は弊誌をご愛読いただきまして  
 ありがとうございます  
 本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます

旧年・2024年は辰年、新年・2025年は巳年。辰から巳ということで、昨年末から2025年1月31日(金)まで、東京メトロ有楽町線辰巳駅記念にフォ

東京都23区略図



東京メトロ有楽町線辰巳駅

トスポットと記念スタンプが設置されています。

辰巳は南東のこと。東京メトロ有楽町線辰巳駅の駅名は、皇居から見て南東方向なことが由来の地名から。近くには、2020東京オリンピックの会場にもなった辰巳の森海浜公園もあります。

江戸時代から深川の一帯は、江戸城から見て南東方向なので「辰巳」の別名が使われていました。深川の富岡八幡宮や永代寺(廃寺)の周辺には、多くの花街がありました。その地の芸者さんは「辰巳芸者」と呼ばれ、「いき」や「きっぷ」などのスタイルを特徴とした、今風に言えばボーイッシュな芸風でした。浮世絵にも描かれているように、男物の羽織姿を「いき」に着こなす姿にプライドをもった芸者さんたちだったそうです。  
 (編集長・小林政能)



江戸名所百人美女「深川八幡」  
 歌川豊国・歌川国久(国会図書館)

次号予告

2025年2月 通巻629号

毎月10日発行

地図と学ぶ 月刊

地図中心 特集 今治市、島と海と半島と

愛媛県の北東部、高縄半島と芸予諸島にまたがる今治市は、瀬戸内海のはぼ中央部で古来からの海の大動脈。現在でも本州四国連絡橋3ルートが一番西側の瀬戸内しまなみ海道が通っています。みなさんご存知の名産品も数々ある今治市。まずは地図で!そして旅立ってみましょ!



〈参考〉今治市Webサイト

バックナンバーのご案内

地図中心

検索

「地図倶楽部」へのご入会をお待ちしています! 03-3485-5417(事務局)

地図中心

2025-1 通巻628号

発行 2025年1月10日

発行所 一般財団法人日本地図センター  
 〒153-8522

東京都目黒区青葉台4-9-6

電話 03-3485-8125

FAX 03-3485-5593

(「地図中心」編集部)

メール chushin@jmc.or.jp

URL https://www.jmc.or.jp

©一般財団法人日本地図センター

定価 880円(税込)

印刷所 昭栄印刷株式会社

地図と学ぶ月刊誌



本誌の一部あるいは全部を無断で複写・複製・転載することは、法律で認められた場合を除き、禁じられています。

2024年12月号(通巻627)に誤りがありました。訂正して、お詫び申し上げます。P.3・プロフィール欄:(誤)15ページ→(正)21ページ

雑誌 86689-01



4910866890157  
 00800